



第30回旅行動向シンポジウム

「過去の経験に学ぶ復興への展望」

10月28日（水）15：45-17：00（75分）

一般社団法人沖縄観光の未来を考える会 事務局長

株式会社アンカーリングジャパン 代表取締役

中村圭一郎

<本日のおはなし>

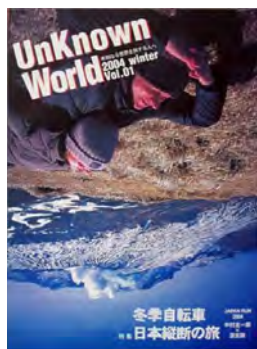
- 1、中村圭一郎・アンカーリングジャパン 個人・法人紹介（5分）
- 2、沖縄観光の未来を考える会 組織紹介・歴史（5分）
- 3、沖縄観光産業の歴史を紹介（5分）
 - ・一部危機管理（テロ、SARS、リーマンショック）分野紹介
- 4、沖縄観光の未来を考える会 活動紹介（5分）
 - ・情報交換会議（通称：朝会）
 - ・月間ニコニコクリーンナップキャンペーン実施
 - ・沖縄県知事立候補予定者公開討論会（観光政策論議）
 - ・アクションプラン2020・2025策定（現在2030策定中）
 - ・沖縄フューチャーツーリズム（通称：OFT）

>後半ディスカッション話題として

沖縄県文化観光スポーツ部創設、一括交付金導入、第5次・第6次観光振興計画策定、沖縄国際映画祭民間協力会支援等



- 中村 圭一郎 /観光プロデューサー /神戸市出身・沖縄県那覇市在住 43 歳
- 1995年 阪神淡路大震災に被災し、自宅が全壊全焼し、生き埋めを経験。
- 1998年 沖縄へ移住し、世界30 カ国以上を渡航し、100 以上の現地発着ツアーを経験
- 2002年 本格的に沖縄の地域資源を活かしたエコツアープログラムの開発とガイドを開始
- 2005年 民間観光案内所を那覇市に設置し、国内外の旅行者へ観光情報を提供
沖縄県内の地域・離島をつなぐ着地型観光のプラットフォームづくりを開始。
- 2013年 環境省主催「地球温暖化防止とサンゴ礁保全に関する国際会議」パネラー参加
- 2014年 環境省「外国人を対象とした国立公園の魅力発信モデル事業」エリアアドバイザー担当
- 2015年 沖縄県「沖縄感動体験プログラム実証事業」検討委員会、
沖縄県中部広域圏観光アドバイザー、南城市観光協会専門アドバイザーを兼任
- 2016年 米務省「International Visitor Leadership Program.」へ選出され、2週間渡米
(Eco-tourism for Small Communities) 分野の専門家としてポートランド（オレゴン州）、
デンバー（コロラド州）、オアフ島・ハワイ島（ハワイ州）にて米国政府・企業と交流
- 2017年 持続可能な観光の国際年に関わる取り組みへの参画と奄美・琉球世界自然遺産登録に
向けた様々な事業推進（環境省・沖縄県）や活動（エコツーリズム・SDGs）を実践
- 2018年 久高自治会より観光交流受入整備事業を受託し、新たな手法による観光地づくりに奮闘中
観光庁「広域周遊観光促進のための新たな観光地域支援アドバイザー」に選出され
沖縄県・他県にてインバウンド振興につながる事業アドバイザーを実施
- 2019年 15年間拠点とした「earthtrip」を閉設し、久茂地のhowlive!に会社を移転
観光を軸とした環境・IT・農水・経営・人材育成・国際等のコンサルティング事業を展開中



現在は、観光プロデューサーとして、沖縄県内の環境共生型観光や文化振興事業の開発支援ならびにガイドやコーディネーター人材の育成を担当。また全国の地域・離島の観光振興プロジェクトにて、着地型観光の現場で組織のマネジメントやプログラム開発を担当。現在、持続可能な観光（サステナブルツーリズム）の推進と奄美琉球世界自然遺産登録による地域開発と安心安全のアクティビティ体験業界の推奨制度（体験ブランド価値向上）の立ち上げ（日本初）に挑んでいる。

自己紹介



<役職>

「株式会社アンカーリングジャパン」 代表取締役 (2006年～現職)

「(一社) 沖縄観光の未来を考える会」 事務局 (2008～2019)

事務局長 (2014～)

「(一社) 沖縄体験観光協会」 事務局長 (2013～) 理事 (2019～)

「(一社) さとうきび創生ラボ 代表理事 (2018～)

「国際フレンドリーサッカーキャンプ IN 沖縄」 実行委員会沖縄責任者 (2014～)

「沖縄県旅行・観光事業協同組合」 理事 (2012～2018)

「沖縄エコツーリズム推進協議会」 理事 (2016～)

「(一社) アレルギー対応沖縄サポートデスク」 理事 (2017～)

「琉球大学 国際地域創造学部」 非常勤講師 (2013～)

「WAOJE (World Association of Overseas Japanese Entrepreneurs)

沖縄支部 理事 (2020～)

「一般社団法人 沖縄ITイノベーション戦略センター」 フェロー (2020～)

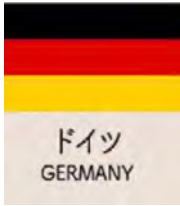
<所属>

「沖縄経済同友会」 観光・情報・環境委員会 (2019～)



FAMILY TRIP

2019年10月、約3週間、家族5名で地球一周の旅



最近の活動テーマ

持続可能な観光・WITHコロナ・マイクロツーリズム

日本インバウンドサミット2020
-99.9% インバウンド観光復興のシナリオ

沖縄

沖縄から始める、
これからのサステナブルツーリズム

やまとこころ 代表取締役 村山 慶輔 氏
沖縄エクスカーションズ 社長 薩得久 朝晃 氏
アンカーリングジャパン 代表取締役 中村 圭一郎 氏
西島エコーリア 理事/専務 徳岡 春美 氏

沖縄観光産業のニューノーマル 第1回

2020/06/16 TUE 15:00-16:30

村山慶輔
杉本健次
中村圭一郎

with コロナ時代の観光戦略 Vol.15

2020.10.30[FRI] 10:30-11:30

村山慶輔 代表取締役 やまとこころ 代表取締役
中村圭一郎 代表取締役 アンカーリングジャパン 代表取締役

変化と対応

申込はこちら

参加費 2000円

Special Talk Live

with コロナ時代の観光戦略 Vol.15

2020.10.30[FRI] 10:30-11:30

サステナブルツーリズムの潮流と今後求められる対応

沖縄観光産業のニューノーマル。 第3回

観光ビジネスは地域の持続可能性に寄与できるのか

今回は、観光と地域の持続可能性にフォーカスした二人のゲストを招いて語る沖縄観光のこれから。YOUTUBEオンライン配信。リアルタイムでも、見逃し視聴もOK!ぜひご参加ください。

2020/08/17 MON 19:00-20:30

Hello! New Normal

参加費 2000円
※学生・チャレンジャー 応援価格0円

中島泰
山田拓
中村圭一郎

モデレーター ISCO フェロー

日本交通公社 観光地域研究部 地域計画室長 上席主任研究員
株美ら地球CEO

Lagoon ISCO

沖縄観光産業のニューノーマル。 第2回

2020/07/20 MON 15:00-16:30

Hello! New Normal

津田佳明
山崎智久
中村圭一郎

ANAグループダイニングス グループ経営戦略室 事業推進部長
アソビュー株式会社 代表取締役CEO
モテーター ISCO フェロー

地域と都市をつなぐ新しい観光

申込はこちら

参加費 2000円

会社紹介

<https://anchoring-japan.co.jp/>

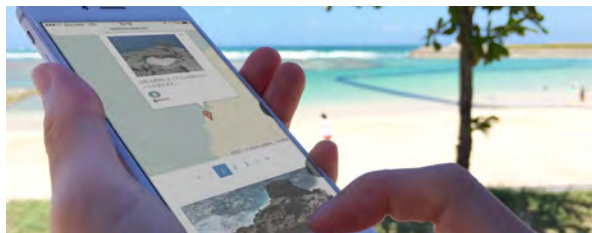
「持続可能な社会の構築を目指すプロジェクトカンパニー
2030年の未来に向けて、より具体的な社会変革を提案します」



観光まちづくり支援業務
(国・沖縄県・自治体案件)



観光人材育成・DMO推進業務
(DMO人材・観光人材育成)



観光DX推進支援業務
(観光×ITビジネス支援)



事務局運営支援業務
(法人・団体支援)

□ 事業ドメインと業務経歴

- 1、観光ガイドサービス(2002)
- 2、観光情報サービス(2005)
- 3、体験滞在型観光(2006)
- 4、インバウンド戦略(2007)
- 5、広域観光プラットフォーム(2008)
- 6、観光DMO人材育成(2010)
- 7、環境共生型観光(2010)
- 8、観光地方創生・観光振興計画(2012)
- 9、海外観光人材交流(2015)
- 10、観光交通モビリティ(2016)
- 11、ICT/IOT観光モデル(2017)
- 12、持続可能な地域観光ビジョン(2018)



会社紹介

2005年4月-2019年8月までの約15年間 那覇市内にて運営

■沖縄民間観光案内所「アーストリップ」

運営：[株式会社アンカーリングジャパン](#)

●免状登録：「ビジット・ジャパン案内所」

（日本政府観光局 認定外国人観光案内所 カテゴリー2取得 県内3件）

●事業内容：

地域・離島の観光振興事業・・・D.M.O.による事業開発・人材育成事業

上記に伴う、民間観光案内所の運営と地域離島の案内やコーディネート業務

○委託業務：事務局 管理運営業務

2007年4月-2019年8月までの約12年間 事務局を運営

[「（一社）沖縄観光の未来を考える会」](#)

2010年4月-2019年8月までの約12年間 事務局を運営

[「（一社）沖縄体験観光協会」](#)



【アーストリップから始まる、あなたの沖縄旅行】

アーストリップ・プロジェクト

観光プラットフォーム・DMO事業

<https://earthtrip.jp/>

Sustainable Tourism

私たちは持続可能な観光の
実現を目指す民間組織です



SINCE 2005

沖縄民間観光局「アーストリップ」とは？

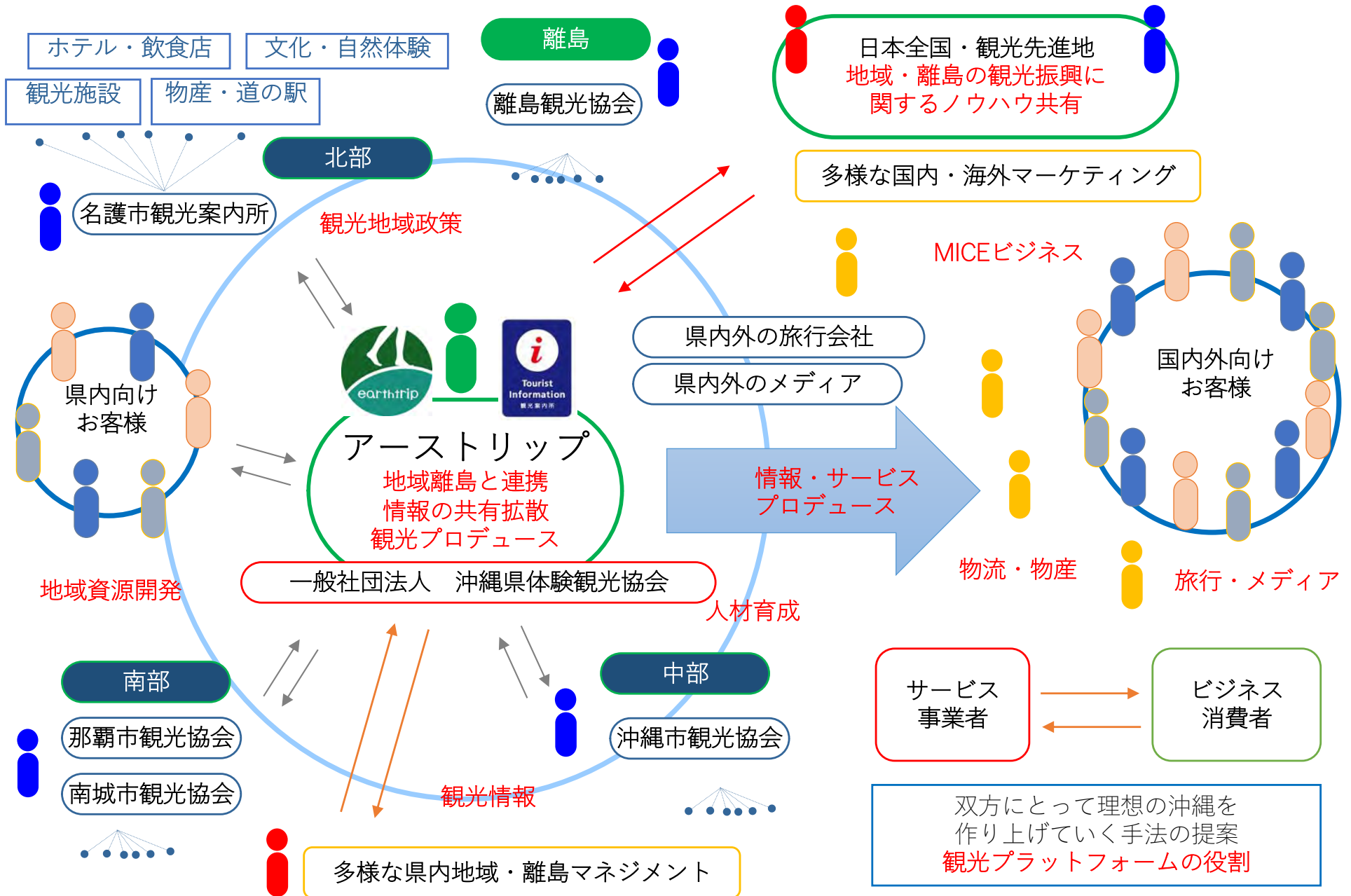
The private sightseeing station

地域観光プラットフォーム拠点「アーストリップ」をプロジェクト化してから、15年が経過し、2020年には海外インバウンド300万人に到達しました。

本来私達が目指すべきゴールの沖縄県は出発点にたてたといえます。様々な業種・業態のステークホルダーと協働し、地域の観光課題解決に取り組むコミュニティとして“民間のチカラで変えていく”を推進していくこと、それが私達が取り組む「アーストリップ・プロジェクト」です。今日まで「ビジット・ジャパン案内所」カテゴリー2として、観光交流拠点を運営する中で、「異文化交流の拠点ーCross-cultural exchange base」という新たな価値創造に挑むという、大きなミッションを民間プロジェクトや産官学連携で推進してきました。

これから場所としての「アーストリップ」はなくとも、ブランドとして、具体的なアクションとして実践していければと考えます。2020年3月代表中村圭一郎

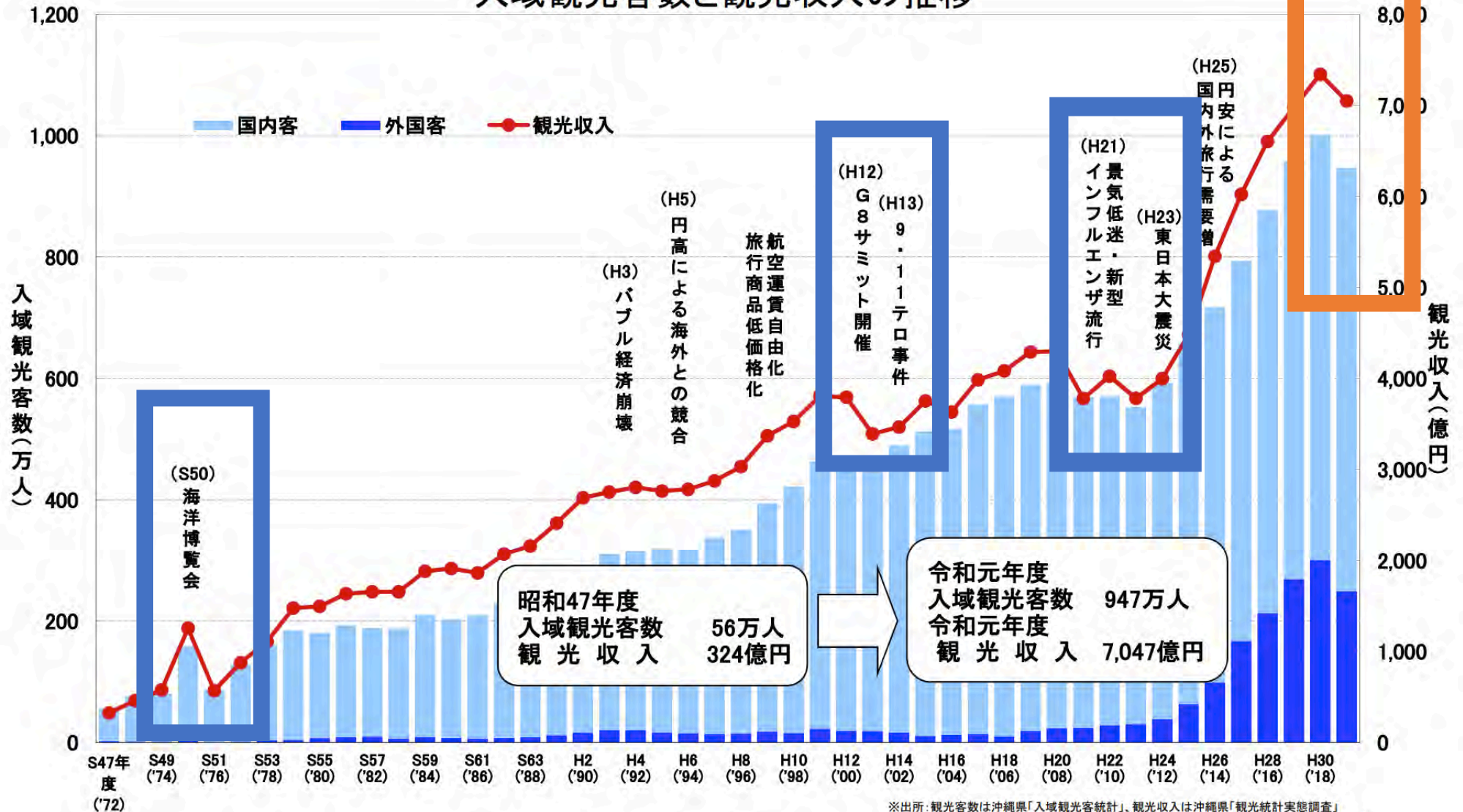
【アジアの中心「沖縄」を拠点とした観光プラットフォーム「アーストリップ」】



沖縄観光の歴史

危機管理分野紹介（テロ、SARS、リーマンショック、東日本大震災、新型コロナウイルス感染拡大）

入域観光客数と観光収入の推移



昭和47年度
入域観光客数 56万人
観光収入 324億円

令和元年度
入域観光客数 947万人
観光収入 7,047億円

※出所：観光客数は沖縄県「入域観光客統計」、観光収入は沖縄県「観光統計実態調査」
※観光収入は、平成17年度までは暦年の数値、平成18年度以降から年度の数値となっている。
※外国客には、特例上陸者を含む。

沖縄観光危機管理

沖縄県観光危機管理基本計画平成26年に策定・施行

「安全・安心な国際観光地沖縄をめざして」

<https://tcm.ocvb.or.jp/#about>



観光危機管理対策 4段階 (4R)

「平常時の減災対策 (Reduction)」

「危機対応への準備 (Readiness)」

「危機への対応 (Response)」

「危機からの回復 (Recovery)」



災害復旧・復興

新型コロナウイルス感染症拡大とその後の取り組み（一部）

旅行者の安全・安心アクションプラン

沖縄Tour Style With コロナ

旅行者専用相談センター沖縄について (TACO : Traveler's Access Center Okinawa)

目的 新型コロナウイルスが存在する「With コロナ」の環境下において、県民を含む旅行者を対象に新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止を図るため、関連情報を収集、伝達共有、発信するとともに、空港等の水際や旅行中における旅行者の相談支援体制を整備し、旅行者が安心して訪れ、県民や観光産業従事者が安心して迎え入れられる環境を整備する。

体制

- 設置者 沖縄県
- 運営者 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
- 所在地 那覇空港ビルディング内
- スタッフ体制 看護師6名、事務スタッフ3名
 - ※ 看護師2名、事務スタッフ1名の2交代制で対応
- 運営期間 令和2年6月19日～3月31日（予定）
- 開所時間 6時～23時

役割

- 発熱者対応（空港）
 - ①サーモグラフィー等連携（発熱感知連絡受信）
 - ②健康確認等への協力依頼・誘導
 - ③旅行中のコールセンター機能
 - ①健康相談 等
- 感染懸念者サポート
 - ①検査実施機関との調整 等
 - ②情報収集・伝達・発信
 - ①旅行者との連携 等

（とめる）

各空港での水際対策・
沖縄独自の緊急事態宣言
地域離島地区への入域制限（医療体制脆弱）
官民連携のPCR検査体制構築

https://www.okinawastory.jp/notice/tour_style

知事メッセージ/旅行者のみなさまへ

【10/2】 沖縄県知事からのメッセージ

沖縄県へお越しの皆さまへ、玉城デニー沖縄県知事よりメッセージが届いています。



沖縄県へお越しの皆さまへ知事からのメッセージ

さあ！沖縄へ！
まっちょーいびーんどー
（お待ちしております）

感染防止対策 徹底宣言

新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドラインを遵守しています。

沖縄県

（まわす）

経済復興への喚起策
県内旅行の促進キャンペーン
・クーポンの配布
知事の応援メッセージ
・GOTOトラベルキャンペーンなど

当会が2030年に目指す 沖縄観光21世紀ビジョン



沖縄らしさを活かした
アジア随一の
国際リゾートアイランド



一般社団法人沖縄観光の未来を考える会 会員構成

会員種類	合計会員数
団体会員	17
企業会員	41
個人会員	17
ユース会員	20
計	95

役職構成	数量
特別顧問 相談役 代表理事 副代表理事 事務局長	各1名
理事	17名

特別顧問			
新垣 安 男 (あらかき やすお)	一般社団法人外国人・日系人サポートセンター		代表理事
相談役			
上原 良 幸 (うえはら よしゆき)	ムーンホテルズアンドリゾート株式会社		会長
代表理事			
金城 仁 (きんじょうひとし)	名鉄観光協定旅館ホテル連盟沖縄支部連合会		会長
副代表理事			
高倉 直 久 (たかくら なおひさ)	株式会社バームロイヤル		代表取締役兼支配人
理事			
大城 宗 直 (おおしろむねなお)	JTBレキオス会		会長
田場 智 (たばさとし)	JTB協定旅館ホテル連盟沖縄支部連合会		事務局長
宮里 一郎 (みやざと いちろう)	KNT-CTパートナーズ会沖縄連合会		連合会長
東江 和 志 (あがりえかずし)	日本旅行協定旅館ホテル連盟沖縄支部連合会		副会長
田中 謙 二 (たなかけんじ)	日本旅行協定旅館ホテル連盟沖縄支部連合会		事務局長
山城 一 善 (やましろかずよし)	日本旅行沖縄赤い風船会		会長
中田 修 樹 (なかたしゅうき)	東武トップツアーズ協定旅館ホテル連盟沖縄支部 東武トップツアーズ協定運輸観光施設連盟沖縄支部		理事
宮里 一郎 (みやざと いちろう)	沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合		理事長
中村 聡 (なかむらさとし)	沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合		専務理事
平良 一 (たいらはじめ)	沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合 青年部		青年部長
大江 聖 輝 (おおえせいや)	名鉄マーチ会沖縄支部会		会長
近藤 正 幸 (こんどうまさゆき)	名鉄観光協定旅館ホテル連盟沖縄支部連合会		事務局長
森田 安 高 (もりたやすたか)	有限会社安楽観光		代表取締役社長
渡邊 達 雄 (わたなべたつお)	農旅連協力のり会沖縄県支部		支店長
上原 武 (うえはら たける)	阪急交通社内旅行推進協会 沖縄支部		支部長
穴本 武 史 (ろっぽんぎたけし)	阪急交通社内旅行推進協会 沖縄支部		事務局
鈴木 洋 一 (すずきやういち)	沖縄県飲食業生活衛生同業組合		理事長
稲嶺 有 晃 (いなみね ゆうこう)	協同組合沖縄産業計画		理事長
青木 紀 将 (あおきのりゆき)	日本トランスオーション航空株式会社		代表取締役社長
武田 政 樹 (たけだまさき)	沖縄ICT観光コンソーシアム		会長
高 敦 若 夫 (かかずいわお)	沖縄ICT観光コンソーシアム		事務局長
小串 法 貴 (おぐしのりたか)	沖縄国際映画祭協会 (株式会社宣伝)		
有木 真 理 (ありきまり)	株式会社リクルートライフスタイル沖縄		代表取締役社長
監事			
白石 武 博 (しろしいたけひろ)	株式会社カヌチャベイリゾート		代表取締役
澤 英 樹 (たくしひでき)	東武トップツアーズ協定運輸観光施設連盟		支部長
事務局長			
中村 圭 一郎 (なかむら けいいちろう)	株式会社アンカーリングジャパン		代表取締役社長



当会が2030年に目指す 沖縄観光21世紀ビジョン

< 2020年通常総会 事業計画 >

当会が掲げる活動方針キーワード「連携・創造・提言・協働・行動」の理念を基に、昨年度発表した「アクションプラン2025」実現に向けて行動をするために、「当会員とのネットワークの構築」と「観光業界や行政・メディアへの情報配信」を基幹事業とし、当会内の活性化・連携強化に努め、会員全体で沖縄観光を盛り上げます。



【基幹事業】

1. 当会員とのネットワークの構築（ネットワーキング）

当会の安定した活動を継続的に行うために、観光施設・宿泊・1次交通・2次交通・サービス業・IT業だけでなく、多くの方々に観光に興味関心を持って頂く為に、ネットワークの構築を目指すこととする。毎月1回の開催に変更した情報交換会議（朝会）や毎月22日に行っているニコニコクリーンアップ大作戦」、また新しい会員共有プログラムの提供などにも取り組む

2. 「Okinawa Future Tourism」を継続し、「アクションプラン2025」実現に向けた活動の実施

2017年度発表した「アクションプラン2025」実現に向けて、当会のみならず関係団体・企業と連携をし、多くの問題解決に向けて取り組む。

3. 観光業界や行政、メディアへの情報発信の確立（メディアリリース）

継続的にを行っている観光業界の意見集約内容や当会の活動情報を行政への提言だけでなく、当会会員、県民に情報配信等を行い、活動の活発化を狙い、沖縄観光に興味・関心を持って頂く。

第1回OKINAWA FUTURE TOURISM 2020

セミナー状況の様子を抜粋
(zoomによるオンライン開催)

(ゲストスピーカー紹介) ←

 JTB総合研究所



経歴) ←

1968年東京都生まれ、1992年明治大学商学部卒業、株式会社日本交通公社に入社後、↓

訪日インバウンド事業、海外オンライン販売事業、訪日オンライン販売事業に携わる。2014年7月より日本人として初めて国連世界観光機関（UNWTO）へ観光庁の推薦で派遣。3年間アジア太平洋部門のシニアオフィサーとしてアジア太平洋観光行政部門の窓口をUNWTOで務める。2017年4月より株式会社JTB総合研究所に主席研究員として着任し、グローバルツーリズム分野の担当となる。 ←



沖縄観光の未来を考える会 新型コロナ緊急アンケート 調査結果 (0601版)
Q. 回答者の業種

業種	度数	割合
1 宿泊業	32	14.0%
2 飲食業	30	13.1%
3 観光施設・アトラクション	15	6.6%
4 運輸・航空・レンタカー	4	1.7%
5 製造業・お土産	21	9.2%
6 旅行業	14	6.1%
7 観光協会・DMO	6	2.6%
8 文化・イベント	14	6.1%
9 マーケティング・広告	10	4.4%
10 通信・IT	18	7.9%
11 建設・メンテナンス	10	4.4%
12 コンサルティング	10	4.4%
13 教育機関・学生	5	2.2%
14 その他	40	17.5%
合計	229	100.0%

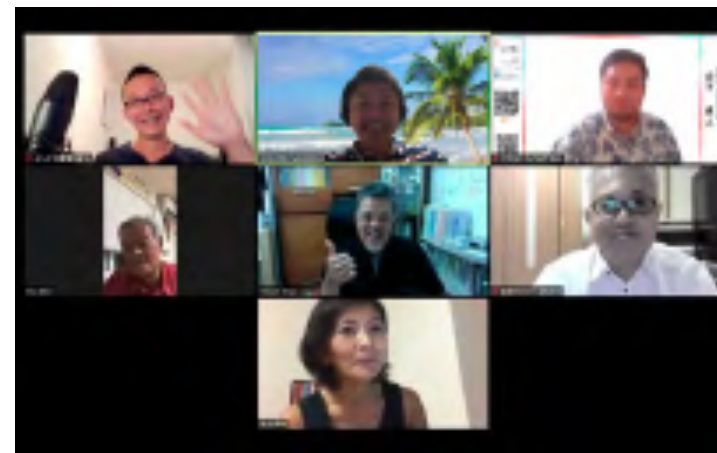

Q. 2020年4月の収入・売上げの状況

2020年4月の収入・売上げの状況 (度数)		宿泊業	飲食業	観光施設 アトラクション	運輸・航空 レンタカー	製造業 お土産	旅行業	観光協会 DMO	文化 イベント	マーケティング 広告	通信・IT	建設・メンテナ ンス	コンサルティング	教育機関 学生	その他	合計
1 対前年より90%以上売上げが下がっている		24	17	12	2	4	10	3	6	1	3	0	1	1	4	88
2 対前年より70%以上売上げが下がっている		7	7	2	1	6	3	0	2	1	2	1	1	0	7	40
3 対前年より50%以下売上げが下がっている		1	5	1	0	6	1	2	5	3	3	0	0	1	8	36
4 対前年より30%以下売上げが下がっている		0	1	0	1	2	0	0	1	2	4	6	5	2	13	37
5 対前年と同様または、収入があがっている		0	0	0	0	3	0	1	0	3	6	3	3	1	8	28
合計		32	30	15	4	21	14	6	14	10	18	10	10	5	40	229
2020年4月の収入・売上げの状況 (割合)		宿泊業	飲食業	観光施設 アトラクション	運輸・航空 レンタカー	製造業 お土産	旅行業	観光協会 DMO	文化 イベント	マーケティング 広告	通信・IT	建設・メンテナ ンス	コンサルティング	教育機関 学生	その他	合計
1 対前年より90%以上売上げが下がっている		75.0%	56.7%	80.0%	50.0%	19.0%	71.4%	50.0%	42.9%	10.0%	16.7%	0.0%	10.0%	20.0%	10.0%	38.4%
2 対前年より70%以上売上げが下がっている		21.9%	23.3%	13.3%	25.0%	28.6%	21.4%	0.0%	14.3%	10.0%	11.1%	10.0%	10.0%	0.0%	17.5%	17.5%
3 対前年より50%以下売上げが下がっている		3.1%	16.7%	6.7%	0.0%	28.6%	7.1%	33.3%	35.7%	30.0%	16.7%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	15.7%
4 対前年より30%以下売上げが下がっている		0.0%	3.3%	0.0%	25.0%	9.5%	0.0%	0.0%	7.1%	20.0%	22.2%	60.0%	50.0%	40.0%	32.5%	16.2%
5 対前年と同様または、収入があがっている		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	16.7%	0.0%	30.0%	33.3%	30.0%	30.0%	20.0%	20.0%	12.2%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2020年4月の収入・売上げの状況 (グラフ)		宿泊業	飲食業	観光施設 アトラクション	運輸・航空 レンタカー	製造業 お土産	旅行業	観光協会 DMO	文化 イベント	マーケティング 広告	通信・IT	建設・メンテナ ンス	コンサルティング	教育機関 学生	その他	合計
1 対前年より90%以上売上げが下がっている		75.0%	56.7%	80.0%	50.0%	19.0%	71.4%	50.0%	42.9%	10.0%	16.7%	0.0%	10.0%	20.0%	10.0%	38.4%
2 対前年より70%以上売上げが下がっている		21.9%	23.3%	13.3%	25.0%	28.6%	21.4%	0.0%	14.3%	10.0%	11.1%	10.0%	10.0%	0.0%	17.5%	17.5%
3 対前年より50%以下売上げが下がっている		3.1%	16.7%	6.7%	0.0%	28.6%	7.1%	33.3%	35.7%	30.0%	16.7%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	15.7%
4 対前年より30%以下売上げが下がっている		0.0%	3.3%	0.0%	25.0%	9.5%	0.0%	0.0%	7.1%	20.0%	22.2%	60.0%	50.0%	40.0%	32.5%	16.2%
5 対前年と同様または、収入があがっている		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	16.7%	0.0%	30.0%	33.3%	30.0%	30.0%	20.0%	20.0%	12.2%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

業種	割合
宿泊業	75.0%
飲食業	56.7%
観光施設・アトラクション	80.0%
運輸・航空・レンタカー	50.0%
製造業・お土産	19.0%
旅行業	71.4%
観光協会・DMO	50.0%
文化・イベント	42.9%
マーケティング・広告	10.0%
通信・IT	16.7%
建設・メンテナンス	0.0%
コンサルティング	10.0%
教育機関・学生	20.0%
その他	10.0%

業種	割合
宿泊業	21.9%
飲食業	23.3%
観光施設・アトラクション	13.3%
運輸・航空・レンタカー	25.0%
製造業・お土産	28.6%
旅行業	21.4%
観光協会・DMO	0.0%
文化・イベント	14.3%
マーケティング・広告	10.0%
通信・IT	11.1%
建設・メンテナンス	10.0%
コンサルティング	10.0%
教育機関・学生	0.0%
その他	17.5%

各情報交換会議開催の様子を抜粋
(zoomによるオンライン開催)





「沖縄観光の未来を考える会」 活動方針のキーワード

5つの活動方針

連携

国、県、市町村、民間、
大学などと連携を図り
それぞれの側面から
意見交換など諸活動を
迅速に行う。

協働

連携をしている
様々な機関とともに、
それぞれが力を合わせて
活動を行う。

創造

連携をしている様々な
機関と共に、観光産業
発展のための調査研究、
討議、先進的取り組み
を行う。

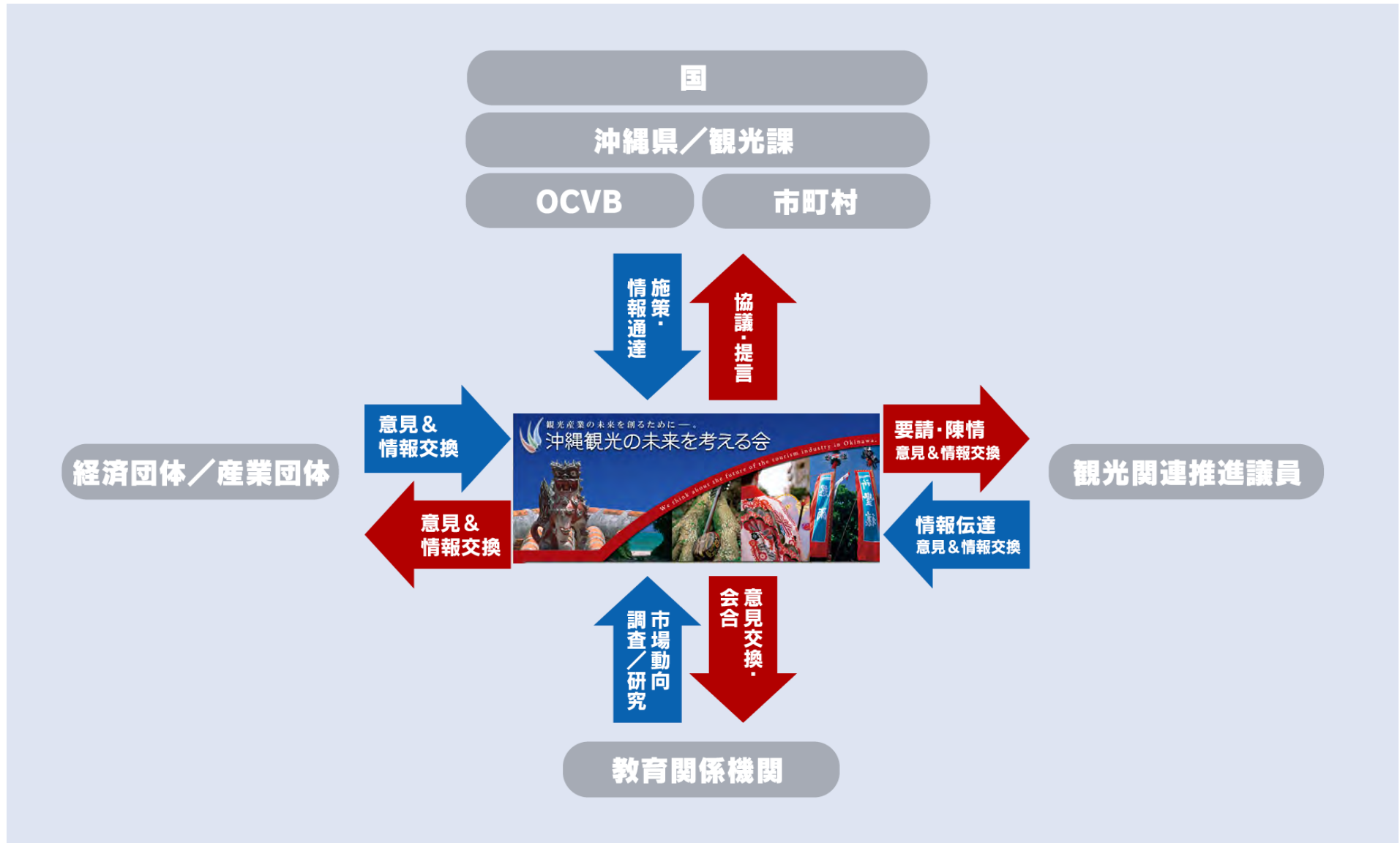
行動

クリーンアップ活動や
道路植栽問題など
沖縄県が抱える
諸問題へ積極的に
取り組み行動する。

提言

沖縄観光全般に対する
オブザーバー、
そして県を代表する
御意見番として
国や県に様々な
提言を行う

産・官・学・民が一体となって築くべき沖縄・観光産業の未来。
「沖縄観光の未来を考える会」は、各観光専門機関の観光産業クラスターの中心として、集約・拡散機能による業界コーディネーターの役割を担います。



当社が2030年に目指す 沖縄観光21世紀ビジョン

沖縄らしさを活かした
アジア随一の
国際リゾートアイランド

アクション
①

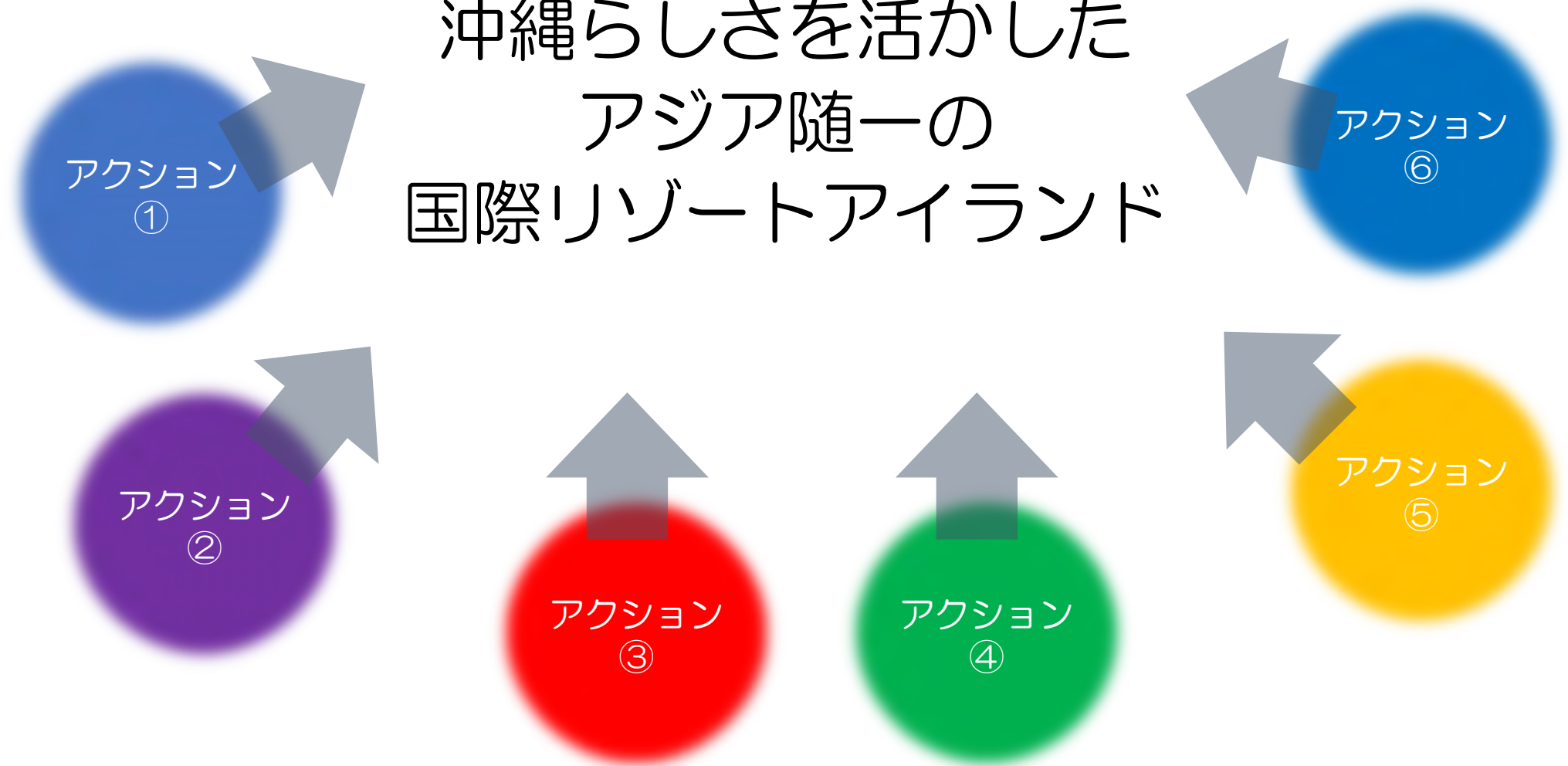
アクション
⑥

アクション
②

アクション
⑤

アクション
③

アクション
④



沖縄らしさを活かした
アジア随一の国際リゾートアイランド

アクションプラン 6つの項目

- ① 観光振興の戦略と制度・体制の整備
- ② 国際競争力の強化
- ③ 観光地としての質と魅力の向上
- ④ 全県的な観光まちづくり
- ⑤ 環境共生型観光の実現
- ⑥ 緊急時に対する対策の強化

アクションプラン2025の策定

2025年を目標にした場合の周辺社会環境の変化から今後の動向を予測

1、世界・アジア・日本・沖縄の人口推移は？

	世界人口	アジア人口	日本人口	沖縄人口
2017年現在	約75億人	約44億人	約1億2600万人	約144万人
2020年予測 _(2011年発表)	約76億人	約50億人	約1億2200万人	約144万人
2025年予測	約81億人	約47億人	約1億2000万人	約141万人

今後観光客が増え続ける要因として、下記のようなことが考えられる。

- 1 世界人口、アジア人口共に増加傾向にあるなか、日本人口は減少する。
- 2 2025年の予測では、アジア人口が減少し、世界人口が増加する。

アクションプラン2025の策定

2、 沖縄県が公表する観光統計調査の実績は？

	入域観光客数	観光消費額	経済波及効果	消費単価
2011年度	約552万人 国内522万人 海外30万人	3,783億円		68,427円
2013年度	約658万人 国内595万人 海外63万人	4,463億円	676億 7,400万円 (2012年度)	67,817円
2015年度	約794万人 国内627万人 海外167万人	6,022億円	1兆 143億 3,400万円	75,881円

* 経済波及効果に関しては、3年に1度の調査を沖縄県が実施

アクションプラン2025の策定

3、それぞれが目標とする観光入域客数と観光消費額、消費単価

	目標年	入域観光客数	観光消費額	消費単価
沖縄県	2021年	1,200万人 国内800万人 海外400万人	1兆1,000億 円	93,000円
一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー	2025年	1,234万人 国内758万人 海外477万人	-	-
当会	2025年	約1,150万人 国内550万人 海外600万人	1兆3,000億 円	113,000円

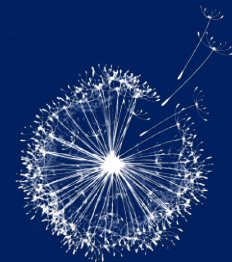
Okinawa Future Tourism

We will move towards 2030



一般社団法人

沖縄観光の未来を考える会



2017
INTERNATIONAL YEAR
OF SUSTAINABLE TOURISM
FOR DEVELOPMENT

What do we think and act now?

私たちは今何を考え、行動しますか？

We believe in the power of people.

We believe in the power of the industry of tourism.

私たちは人々の力を信じています。私たちは
観光産業の力を信じています。

Okinawa Asia's best International Resort Island

Action Plan 2030

Our future, we create

Tourism is a sustainable industry

 一般社団法人
沖縄観光の未来を考える会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

2030年 私たちが目指す、沖縄観光21世紀ビジョン 2030

Our Okinawa Tourism 21st Century Vision

沖縄らしさを活かした
アジア随一の
国際リゾートアイランド

Okinawa Asia's best International Resort Island

沖縄観光入域客数の目標予測

Goal forecast for the number of Okinawa tourists
visiting

	目標年	入域観光客数	観光消費額	消費単価
沖縄県	2021年	1,200万人 国内800万人 海外400万人	1兆1,000億円	93,000円
OCVB	2025年	1,234万人 国内758万人 海外477万人	-	-
当会	2025年	約1,150万人 国内550万人 海外600万人	1兆3,000億円	113,000円

沖縄県の地域課題を解決する観光振興

Tourism promotion measures to solve the regional problems of Okinawa Prefecture

○沖縄の低所得（貧困）・地域離島格差是正

Low income (poverty) in Okinawa · Remediation of regional remote island disparity

沖縄県民の幸福度と地域住民の満足度を向上

Improve happiness degree of Okinawa citizens and satisfaction of local residents

○持続可能な観光資源（文化・自然）の保全

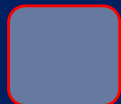
Conservation of sustainable tourism resources (culture and nature)

来訪者の満足度と事業者の経営を持続的に管理

Sustainable management of satisfaction. visitors and business operators

沖縄県の地域課題を解決する観光振興

Tourism promotion measures to solve the regional problems of Okinawa Prefecture



国連SDGsの課題解決



沖縄観光独自の課題解決

アクションプラン戦略6

Action Plan six strategic

① 観光振興の戦略と制度・体制の整備

The development of strategies and systems and system of tourism promotion

② 国際競争力の強化

Improvement of international competitiveness

③ 観光地としての質と魅力の向上

Improvement of quality and appeal as a tourist destination

④ 全県的な観光まちづくり

All OKINAWA prefecture-oriented tourism planning&promotion

⑤ 環境共生型観光の実現

The realization of a sustainable tourism

⑥ 緊急時に対する対策の強化

Strengthen measures against emergencies

① 観光振興の戦略と制度・体制の整備

The development of strategies and systems and system of tourism promotion

- 沖縄観光施策が戦略的に推進され、目標値に対する成果が出ている
- 観光を支えるインフラが整備・拡張されている
- 観光を支える制度や仕組みが整備・拡充されている（質の向上）

マーケティング	観光マーケティング(市場開発)の推進 RESAS(地域経済分析システム)や観光ビッグデータを活用したマーケティング手法の普及促進 滞在日数・泊数の増加で消費単価向上
インフラ整備	那覇空港第2滑走路早期建設と拡充 球技場・競技場・アリーナ等改築及び建設 2次交通結節(空港)解消、公共交通機関の再編・機能性向上
制度・仕組み	行政内部の横断的観光振興体制の確立 観光人材開発基金の創設(専門人材の公共開発) 沖縄観光促進に係る目的税の検討・導入

② 国際競争力の強化

Improvement of international competitiveness

- ・ 海外インバウンド増加による旅行の平準化と消費額の増加を図る
- ・ 国内外の市場を分析し、総合産業としての観光収入の増加を図る
- ・ 観光入域客数—国内550万人、海外600万人=合計1150万人
滞在日数—国内3.8日→5日

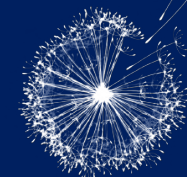
観光産業の国際化 「観光国際ブックバン年2015」以降の対応強化
人種や言葉、性を越えた国際ユニバーサルデザイン化
外国人向け体験プログラムのさらなる充実（受入整備全般）
海外航空座席供給の戦略策定
生産・製造業者の物流と観光を連携させた観光誘致戦略の強化

人材育成・登用 「観光客の国際化に対応出来る人材を育成する」
観光業界関連事業の人材育成強化（ビジネス・多言語対応）
2020年まで多言語対応能力（50%）、英語対応100%
年間1000人規模の海外研修・出向の実現
県外・海外からのレベルの高い人材登用の強化
外国人労働者（ホテル・飲食等）の確保

⑤ 環境共生型観光の実現

The realization of a sustainable
tourism

- ・ 沖縄観光戦略に「持続可能な観光地形成」を掲げる
 - 2017年 開発のための持続可能な観光の国際年(国連)
- ・ 沖縄全島でスマートアイランド化 2020年宮古島 2030年沖縄全島
- ・ やんばる・西表島が世界自然遺産に登録され、持続的な観光を牽引する



2017
INTERNATIONAL YEAR
OF SUSTAINABLE TOURISM
FOR DEVELOPMENT

ブランドの創造

「沖縄観光の新たな価値として自然遺産と文化遺産の融合からハイブリットリゾート（文化観光ビジネス）の創造を図る」
 観光交通車両のHV・PHV・EV・水素化(低排出)導入支援制度
 ホテル・観光施設のエコ認証化(環境配慮度によるランク付け)
 エコ化・渋滞緩和対策として都市中心街や観光地への車両規制

新事業モデル構築

地域離島の観光・環境負荷軽減策として新たな環境共生型観光のビジネスモデル創造を図る（エネルギー事業・スマートアイランド事業）
 エコツーリズムの概念に基づいた観光資源の保全利用を的確にモニタリングし、適正な観光資源の運用ができる仕組みの開発（ツアーガイド育成事業やオーガニック食品等の開発）

沖縄県の地域課題を解決する観光振興

Tourism promotion measures to solve the regional problems of Okinawa Prefecture

○沖縄の低所得（貧困）・地域離島格差是正

Low income (poverty) in Okinawa · Remediation of regional remote island disparity

沖縄県民の幸福度と地域住民の満足度を向上

Improve happiness degree of Okinawa citizens and satisfaction of local residents

○持続可能な観光資源（文化・自然）の保全

Conservation of sustainable tourism resources (culture and nature)

来訪者の満足度と事業者の経営を持続的に管理

Sustainable management of satisfaction. visitors and business operators

ご清聴ありがとうございました。

一般社団法人沖縄観光の未来を考える会

事務局長

株式会社アンカーリングジャパン

代表取締役 中村圭一郎



<観光地域振興事業・体験型観光事業>

- ・沖縄県主催「沖縄離島体験交流促進事業」（13離島）ファシリテーター担当（2010～2015）
- ・沖縄県「沖縄空手活用産業連携モデル事業」沖縄空手体験PG事業開発・採択（2011）
- ・中小機構「地域産業資源活用事業（若年層観光客向け多国籍ツアー）」事業・採択（2012～）
- ・沖縄県「元気プロジェクト・課題解決事業」バルウォーク那覇 沖縄事務局担当（2012-2014）
- ・北部広域市町村圏事務組合「やんばる観光連携推進事業」コーディネート担当（2012-2013）
- ・沖縄県農林水産部「農山漁村交流拠点整備事業」事業受託（2013～2015）
- ・沖縄県「誰にでもやさしい観光地づくり形成事業」地域ワークショップ受託事業（2014）
- ・中部広域市町村圏事務組合「観光広域化事務専門部会」アドバイザー担当（2015）
- ・沖永良部島観光協会「おきのえらぶ島DMO化事業」受託：事業コーディネート担当（2016）
- ・南城市「第2次南城市観光振興計画策定業務」事業受託：業務担当（2016-2017）
- ・沖縄県「ラグジュアリートラベル・ビジネス調査構築委託業務」事業受託：業務担当（2016-17）
- ・日南市「観光消費額アップコーディネート事業」事業受託：業務担当（2016）
- ・南城市久高区「久高島文化観光交流受入環境整備事業」事業受託：業務担当（2017～2018）
- ・与那国町「与那国町観光振興計画改定事業」事業受託（2019～）
- ・南城市「南城市観光交通実施計画策定事業」観光ワーキング担当（2019～）
- ・沖縄県「自然環境の保全利用協定締結推進事業」事業推進業務担当（2019～）

＜観光・地域人材育成事業＞ 一新潟県、富山県、宮崎県、徳島県、鹿児島県等でも実績あり

- ・ 沖縄県「観光人材基礎育成事業」ダイビングサービスシーサー研修担当（2012-2013）
- ・ 奄美群島観光物産協会「奄美群島島コーディネーター研修」（2012-2013）
- ・ うるま市・南城市・金武町地域雇用創造協議会アドバイザー兼人材育成講師（2012～2013）
- ・ 南城市観光協会「観光人材育成プラットフォーム構築事業」講師担当（2015～2017）
- ・ 与那国町「観光協会基盤構築・人材育成業務」事業受託（2017～2018）

＜国際交流・インバウンド事業＞

- ・ 内閣府主催「アジア青年の家」事業 沖縄現地体験交流プログラム担当（2008-2015）
- ・ 沖縄県主催「アジアユース人材育成プログラム」事業 ファシリテーター担当（2010-2011）
- ・ 観光庁・JAL「オーストラリアメディア・沖縄招聘事業」現地コーディネート担当（2013）
- ・ 南城市「海外交流推進事業委託業務」事業受託：統括担当（2015～）
- ・ 観光庁訪日GC「南予地域体験型観光コンテンツ造成事業」事業推進業務（2019～）

＜環境共生型観光・エコツーリズム推進事業＞

- ・ 環境省「外国人を対象とした国立公園の魅力発信モデル事業」西日本アドバイザー（2014）
- ・ 沖縄県「やんばる型森林ツーリズム推進体制構築事業」プログラムモニター実施担当（2015）
- ・ 沖縄県「環境共生型観光推進事業・エコツーリズムプラットフォーム」業務担当（2015～）
- ・ 沖縄県・OCVB「奄美・琉球 観光交流連携体制構築事業（世界自然遺産）」（2018～）

第30回旅行動向シンポジウム 資料（主催：公益財団法人日本交通公社）

本資料の引用や転載はご遠慮ください